

## 令和4年度 公募提案型補助金交付決定団体実績

1	団体名	野いちごコーラス
	事業名	野いちごコーラス メモリアルコンサート
	実施日時	令和4年4月29日 午後2時から午後4時
	実施場所	芦屋市民センター ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホール
	参加人数	430名
	事業内容	「メモリアルコンサート～コロナ禍から再生への願いを込めて～」を4部構成で開催。 第1ステージ 「野いちご」愛唱の歌などより 第2ステージ 海に寄せて 第3ステージ 趣を変えて 第4ステージ コロナ禍から再生への願いを込めて
事業の成果・効果	コンサートのステージ構成は、来場された方々に楽しんでいただけるようにそれぞれの特色を持たせた4部構成とし、特に第3ステージはカルテットやソロ・ピアノ演奏などで合唱とは異なった趣を味わっていただき、第4ステージは開催時期に相応しい曲を演奏することと致しました。 あいにくの荒れた天候で来場者も少ないのではと懸念いたしましたが、想定を超えた来場者を迎えることができました。	

2	団体名	芦屋フィルハーモニー管弦楽団
	事業名	コンサート『響』“希望”
	実施日時	令和4年6月5日 午後2時から午後5時
	実施場所	芦屋市民センター ルネサンス クラシックス芦屋ルナ・ホール
	参加人数	307名
	事業内容	今回のコンサートは、通常の形式（反響板、ひな壇設置、有客）で開催。 ◇指揮：坪井 一宏 先生 ◇プログラム 〈献奏〉ラフマニノフ ヴォカリーズop. 34-14（管弦楽版） ・ベートーヴェン エグモント序曲 ・シベリウス フィンランディア ・ドヴォルザーク 交響曲第8番（全楽章） ◇構成：フルオーケストラ（8型）演奏者56名 ◇入場料：一般公開・入場料無料
事業の成果・効果	献奏により、コロナ禍、医療従事者への感謝と世界平和への願いを音楽を通して伝えることができました。 指揮者により曲ごとに、その曲が作曲された時代背景、作曲家の置かれた状況、そして曲の持つ意味合いなどについて、解説しながら演奏を行いました。 通常のコンサートでは、演奏のみ行われて終わりますが、来場者にはオーケストラが初めての方もおられるため、プログラムに書かれている曲目解説とは違った視点からのお話をする事で、より親しみの沸くものになったと思います。	

3	団体名	夢くらぶ
	事業名	“みんなで日本の歌を楽しむ” 音楽会
	実施日時	令和4年7月31日 午後2時から午後4時
	実施場所	芦屋市民センター 音楽室
	参加人数	56名
	事業内容	<p>「みんなで日本の歌を楽しむ」をテーマにした音楽会を開催し、来場者と共有できる安らぎのあるひと時を演出し、音楽に親しむことの楽しさを感じていただく事業。</p> <p>プロの歌手を呼ぶのではなく、手作りで「夢くらぶ」会員が練習してきた童謡唱歌、懐かしい曲や楽しい曲を30曲ほど選曲して披露。</p>
事業の成果・効果	<p>会員の演奏による手作りの演出でより身近に「コーラス」の良さを感じていただけた。3部構成で演奏した30曲は童謡、唱歌、抒情歌、ポピュラーソングと様々で聞く人それぞれの心に響いたとの感想を多くいただいた。</p> <p>「何かと暗い社会状況のなかで「音楽会」に来て明るい気分になれた。明日への希望が湧いてきた。」「なつかしい歌で昔を振り返りホッとした気分になった。」など、多くのご感想をいただいた。これらのご感想から当初期待した「市民に安らぎのひとときを味わってもらおう」「フレイル予防に寄与すること」に大きな効果があったと考えます。また、「市民の皆様との長年の交流の継続」にも効果的な企画だったと思います。コロナ終息時には福祉施設へのボランティア活動を再開したいと思います。</p>	

4	団体名	芦屋ちやいんど未来教室
	事業名	SDG s の理解を深める！リユースで牛乳パックのイスをつくろう！
	実施日時	令和4年7月31日 午後12時30分から午後3時
	実施場所	芦屋市立体育館・青少年センター 大会議室
	参加人数	21名
	事業内容	<p>身近にある牛乳パック、段ボールなどを利用し、リユースでオリジナルの牛乳パックイスを制作。大切に使うってもらう1つの工夫として、座面には子どもたち自身の顔をフェルトで描いてもらいます。針などを使わず両面テープや接着剤を使い、幼児や小学校低学年の子どもでも安全に楽しく作ることを目的とします。世界に1つだけの自分のイスをつくり、出来上がりには鑑賞会を行い、一人ひとりの個性が反映された創造的な作品を鑑賞することでアート（美術作品）としての多様な楽しみかたも体験していただきます。</p>
事業の成果・効果	<p>講師からその都度SDG s に関する話も行い、学びながら工作を楽しんでいただけたと思います。作品完成後は、他の参加者の前で自身の作品を発表し、工夫した点などを話してもらいました。</p> <p>創作中に周りの友達や一緒に来ている家族と協力しなければならない場面があり、協力することやコミュニケーションの大切さについても学んでもらえたと感じます。参加者は「SDG s」「エコ」についても関心を持っており、今回の事業を通じてさらに学びを深められたのではないかと考えています。何よりも、ものづくりの楽しさを感じながら、それぞれ熱中して取り組んでいた様子が印象的でした。</p>	

5	団体名	芦屋市書道協会
	事業名	芦屋市書道協会創立70周年記念・第65回芦屋市書道展
	実施日時	令和4年11月19日 午前9時00分から午後9時00分 令和4年11月20日 午前9時00分から午後4時00分
	実施場所	芦屋市民センター 多目的ホール・301・302号室
	参加人数	751名
	事業内容	「第65回芦屋市書道展」として広く市民に告知・募集し、審査を経て2日間芦屋市民センターにて展示（観覧無料）を行います。幼・小学生には「金・銀・銅 協会賞」、中・高校生には「協会特別賞」「奨励賞」「第65回祈念賞」、一般には「創立70周年記念賞」「協会特別賞」「片山萬年賞」など多数の賞を表彰し、賞状と賞品を授与します。
	事業の成果・効果	創立70周年の記念すべき本年は、70年という芦屋市での書活動を通じた地域の人々との交流と振興を深めた。 また、出品した児童から大人はもちろんのこと、他にも書道展を観覧し書道文化に触れたかたも書道の持っている独特な芸術性に親しむことで明日への励み、日々の生活の活力を得られたと推察する。